

見発な新たな空上

第12回全日本学生グライダー新人競技大会

11〜17日、海津・木曾川滑空場

第12回全日本学生グライダー新人競技大会が11〜17日、岐阜県海津市の木曾川滑空場で開かれる。出場は大学2年生までの選手で、全国の26大学から46人が出場。一人前のパイロットを目指す若者たちが、大空を舞台に日頃の練習の成果を競う。
(小泉耕平)

同じ夕焼けも全然違う

名工大の齋藤貢さん



齋藤貢さん＝木曾川滑空場

「実は高所恐怖症でビルの5階から下を見るのも怖いんです」と語るのは名古屋工大2年の齋藤貢さん(20)。地上数百メートルを飛ぶグライダーは「高すぎて実感がわかないから大丈夫」なのだという。愛知県岡崎市出身で中学、高校ではサッカー部。「大学では何か変わったことがやりたい」と思っていた時、最初に勧誘されたのが航空部だった。「同じ夕焼けでも、空か

出場するみなさん

(丸数字は学年)

- | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|--------------|-----------------|
| 鹿田 憲吾 大阪大② | 戸田 寛規 同志社大② | 西村 誠士 龍谷大② | 田淵 雄亮 京大① | 八木 沢和也 関西大② | 上田 翔平 立命館大② | 中西 翔平 立命館大② | 酒井 孝清 立命館大② | 井上 史彦 立命館大② | 築本 剛 立命館大② | 横田 雅彦 立命館大② | 住田 厚美 立命館大② |
| 佐久間 陽 東京工大② | 川口 翼 東海大② | 渡辺 翔太 青山学院大② | 富岡 航平 早稲田大② | 吉岡 祐一 早稲田大② | 和野 悠佑 早稲田大② | 野田 翔吾 早稲田大② | 隅田 間静 早稲田大② | 岩田 将基 防衛大② | 小岩 聡一 防衛大② | 小林 秀岳 慶応義塾大② | 北沢 信哉 中央大② |
| 山田 真悟 東京大② | 鷲沢 拓也 東京大② | 岡本 一秀 学芸院大② | 保 佳希 学芸院大② | 迫 優理子 法政大② | 荒井 祐紀 法政大② | 篠原 翼 日本大② | 山田 裕太郎 日本大② | 北田 絢子 日本大② | 橋本 結城 九州大② | 桂 奈央 九州大② | 26大学46人(うち女性7人) |

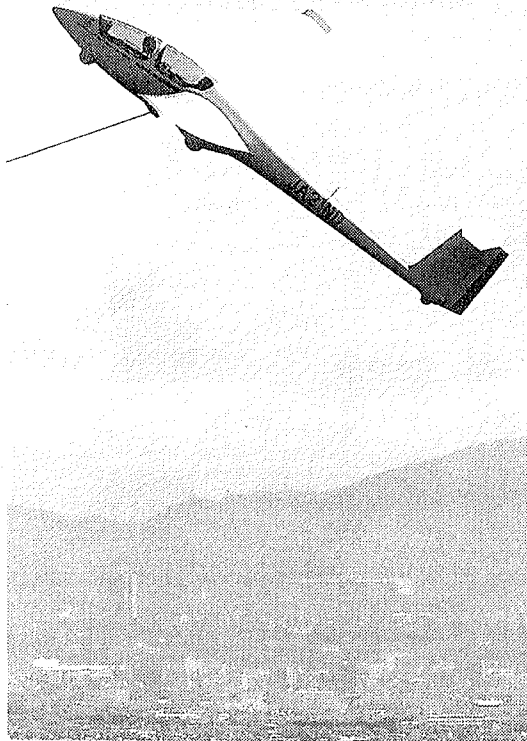
ら見ると全然違って見える。高く上れば、それだけ遠くが見えて新鮮な発見がある」と、すぐに魅力にとりつかれた。今では、飛行機の設計の仕事に就くのが夢になった。練習は、夏休みなどの長期休暇や土日を利用して不定期に行っている。費用は年間数十万円と馬鹿にならないが、飲食店のアルバイトで工面している。「お金はかかるけど、差し引きて空を飛ぶ楽しみの方が上」と言い切る。

新人競技大会は今年で2回目。1年生で出場した昨年は43人中40位だった。競技のポイントは「地上にいるうちに、いかによく考えるか。主に使うのは頭」と話す。先輩の話や聞き取り、気象や航空力学の本を読むなど、普段からの学習が物を言うという。目標は「自分より多く飛んでいる人に勝つこと」。頭脳プレーで上位を狙う。

競技の方法

経験の浅い選手の技術向上が狙いで、通常の大会のようなタイムや距離ではなく、基本に忠実に飛べるかを競う。選手は複座機の前に座り、審判委員が後ろで採点する。発航準備

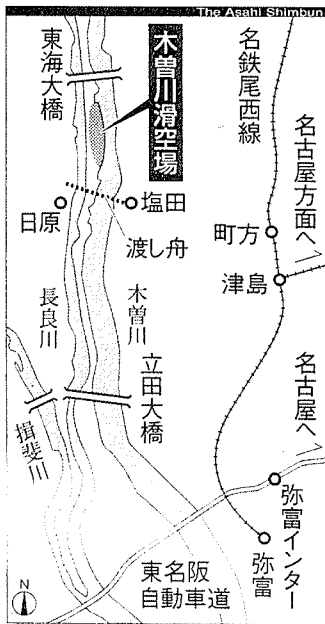
から着陸までの「基本操作」、急旋回や失速と回復などの「空中操作」、計画力や判断力などの「総合能力」、決められた地点に着陸する「指定地判定」の4項目計11課目を、それぞれ10点満点で採点。指定地判定のみ減点方式となる。1大学から2人まで参加でき、団体戦は2人の合計点で争う。



木曾川近くの上空めがけて飛び立つグライダー＝08年9月、本社ヘリから

▽大会本部の所在地 岐阜県羽鳥市桑原町東小藪、日本学生航空連盟木曾川訓練所。問い合わせは同連盟関西支部(06・6201・8245)▽交通 名鉄津島駅下車、タクシーで約30分。車は東名阪自動車道弥富インターから約30分。

会場案内



主催 日本学生航空連盟、朝日新聞社
後援 岐阜県、海津市、羽鳥市、愛西市、日本滑空協会、日刊スポーツ新聞社
協賛 トヨタ自動車、日本航空、全日本空輸、ユーロコプタージャパン、中部精機製作所、大垣共立銀行、トカイフーズ、関西飛行協会、大橋工務店、清水医院、コマツ建機販売岐阜カンパニー